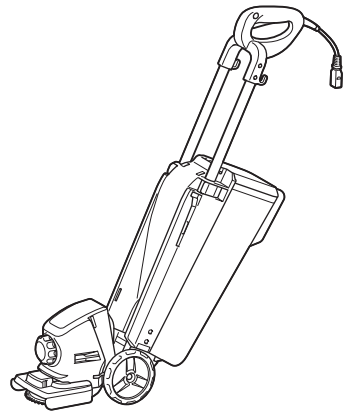


Makita

取扱説明書

160mm 電気芝刈機

☐ モデル MLM1610



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは芝刈機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次




・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 芝刈機安全上のご注意	9
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ ご使用前の準備	14
・ 集草ガイドの取り付け・取りはずし方	14
・ 収納状態の解除方法	15
・ ハンドルの調整	15
・ 刈り込み高さの調整	16
・ 電源プラグとつなぎコードのプラグを接続	16
・ 使い方	17
・ スイッチの操作	17
・ 持ち運び方	18
・ 過負荷保護装置（モータ保護機構）について	19
・ 作業方法	20
・ 刈り込み方法	20
・ 平地の刈りかた	21
・ コーナー部の刈りかた	21
・ 長い芝の刈りかた	22
・ 壁ギワの刈りかた	22
・ 芝の捨てかた	24
・ 芝がつまった場合の除去方法	26
・ お手入れ・保管	27
・ お手入れ	27
・ 保管	27
・ 刃物の交換	28
・ 保守・点検について	32
・ ご修理の際は	32
・ 160mm 電気芝刈機 保証書	36

主要機能

主要機能	モデル	MLM1610
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		2.8 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		270 W
回転数		1,600 min ⁻¹ (回転 / 分)
刈り込み高さ		10・15・20・25・30・35・40 mm (7段階)
刈り込み幅		160 mm
本製品寸法		長さ 360 mm × 幅 178mm × 高さ 745 ~ 1,035 mm
質量		5.6 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - 発火や爆発の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - 感電する恐れがあります。
5. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
6. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
7. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

⚠ 警告

3. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
4. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
5. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
6. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業

電動工具の手入れ

1. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
2. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
3. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感ずる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

5. 使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、芝刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 雨中や水たまり、および散水直後は使用しないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
3. 小さい子供やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
4. 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石、棒切れなどの障害物を除去してください。
 - ・ 小石などが刃物に当たるとけがの恐れがあります。
5. 刃物が回転している間は、刃物や切り屑の排出口には手足や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
6. スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。本製品の持ち運び、刃物の点検やお手入れは、必ず刃物が止まっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ けがの恐れがあります。
7. 芝刈機を使用中、電源コードや延長コードを巻き込まないようにコードを刃物から離してください。
 - ・ 事故の原因になります。
8. 次の作業をする前に電源コードをコンセントから抜いてください。
 - ・ 芝刈機の調整
 - ・ 清掃、芝詰まりの解消または保守
 - ・ 電源コードのもつれを取る
 - ・ 電源コードなどの損傷を調べる
 - ・ 刃物の交換
 - ・ 草を捨てる
9. 集草ボックスをはずしたままでは使用しないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
10. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

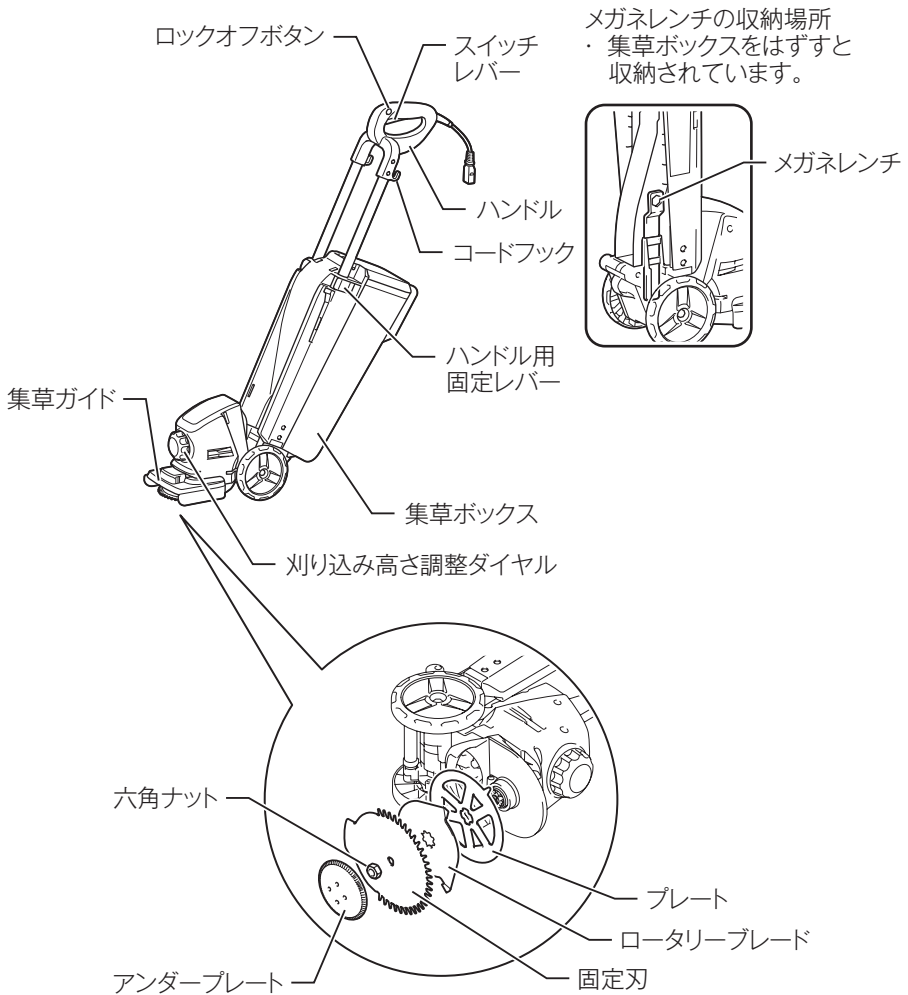
⚠ 警告

- 12.刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
 - ・ 切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
- 13.使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
- 14.芝刈作業以外（除草など）には使用しないでください。
 - ・ 本製品に負荷が加わり、事故やけが、故障の恐れがあります。
- 15.刈り込みは走って行わないでください。
 - ・ 転倒などの恐れがあります。
- 16.斜面の刈り込みは、斜面に対して横切るように行ってください。
 - ・ 斜面に沿って刈り込みをすると、転倒などの恐れがあります。
- 17.斜面で本製品の方向転換をするときは、細心の注意を払ってください。
 - ・ 転倒などの恐れがあります。
- 18.急な斜面での刈り込みは行わないでください。
 - ・ 転倒などの恐れがあります。
- 19.本製品を手前に引くときは、細心の注意を払ってください。
 - ・ 足を挟んで、転倒の恐れがあります。
- 20.芝以外の地面を横切って移動する場合はスイッチを切って刃物の回転を止めてください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 21.スイッチを入れるときは、手足を刃物から十分に離してください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 22.スイッチを入れるときは、本製品を傾けないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 23.集草ボックスに摩耗や劣化がないか、使用前に点検してください。
 - ・ 芝と一緒に小石などが勢いよく集草ボックスに入るため、損傷しているとけがの恐れがあります。
- 24.ロックオフボタンやスイッチレバーなどの操作に関するボタンは押し込んだり、引き込んだりした状態固定しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
- 25.本製品に付属している刃物は、本製品専用です。他の製品に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 事故や故障の原因になります。
- 26.刃物を扱うときは、必ず手袋を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。
- 27.通気孔を刈った草のくずなどでふさがないようにしてください。
 - ・ 故障の原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
 - ・ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - ・ 温度や湿度の急変する所
 - ・ 湿気の多い所
 - ・ 直射日光の当たる所
 - ・ 揮発性物質の置いてある所
 - ・ 事故の恐れがあります。
3. 油および殺虫剤などの薬品が本製品に付いたままにしないでください。
 - ・ 変色・変形・割れなど、本製品が損傷する恐れがあります。
4. 取り付けネジの点検
本製品を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。
5. 本製品を使用する際は、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電遮断器を使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ メガネレンチ 17
- ・ 固定刃 160
- ・ ロータリーブレード 160
- ・ つなぎコード (10 m)

別販売品のご紹介

- ・ 固定刃 160 セット品
部品番号：A-70334
- ・ ロータリーブレード 160 セット品
部品番号：A-48957
- ・ つなぎコード（10 m）
部品番号：A-63672

ご使用前の準備

⚠ 警告

付属品の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。

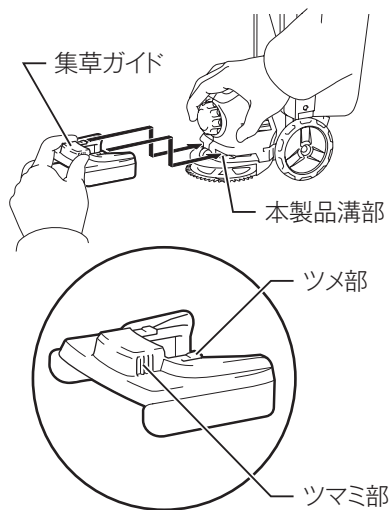
集草ガイドの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

集草ガイドの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ 集草ガイドを取りはずすときは、ツマミ部を持って手前に引いてははずし
ます。
取り付けは、少し斜め上から集草ガイドのツメ部分を本製品の溝に入れて
ください。



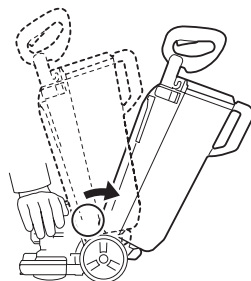
⚠ 注意

集草ガイドを取り付けるときは、手を滑らせないように慎重に取り付けてください。

ご使用前の準備

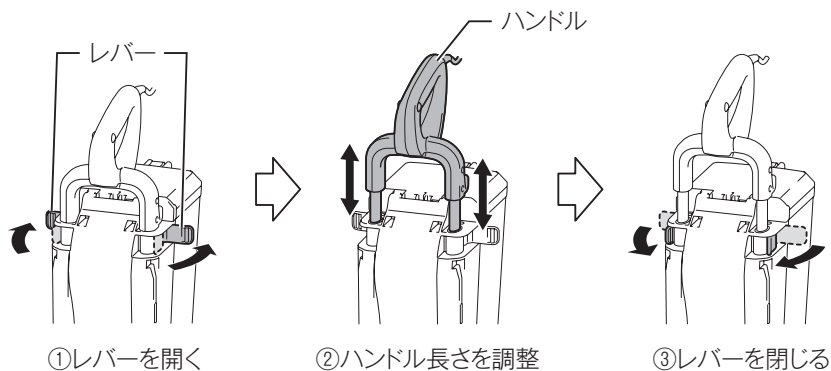
収納状態の解除方法

- ・ 本製品を手で押さえながらハンドル部を倒し、固定をはずします。



ハンドルの調整

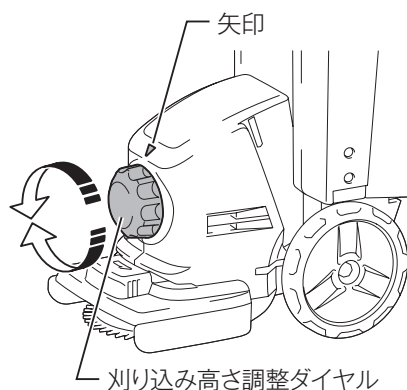
1. ハンドルを刈りやすい姿勢に合わせて、長さを調整します。



ご使用前の準備

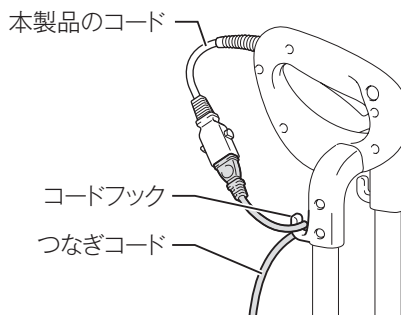
刈り込み高さの調整

- ・ 芝生の刈り込み高さを設定します。
- ・ 芝生の高さは約 10 mm ~ 40 mm まで7段階に調整できます。お望みの高さに調整してください。
- ・ 刈り込み高さ調整ダイヤルを回し、目盛を矢印に合わせます。
- ・ 数値は、芝の長さ (mm) の目安です。



電源プラグとつなぎコードのプラグを接続

- ・ 本製品の電源プラグとつなぎコードのプラグを接続してください。
- ・ つなぎコードは図のように本製品のコードフック部に引っ掛けてください。
- ・ コードフックは左右どちらでも使用できます。操作の邪魔にならない方に引っ掛けてください。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントにつなぎコードのプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

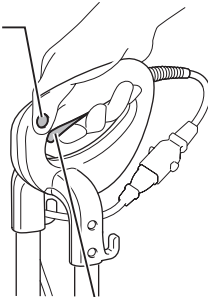
- ・ スイッチを入れたままつなぎコードの電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因となります。

ロックオフボタンを押し込んだ状態や、スイッチレバーを引いた状態で固定しないでください。

- ・ 事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。
- ・ ロックオフボタンは左右どちらの方向からでも押すことができます。

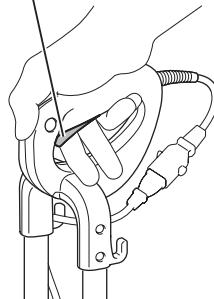
ロックオフ
ボタン



スイッチレバー

- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。

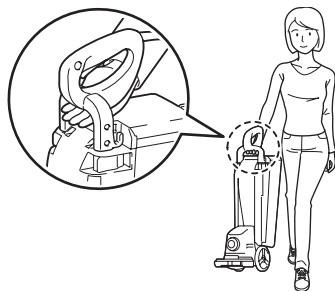
スイッチレバー



使い方

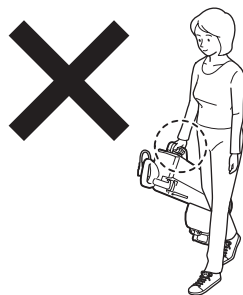
持ち運び方

- ・ 持ち運びは、本製品を収納状態に変更し、ハンドル部を固定してから、図のように持って運んでください。



注

- ・ スイッチ部は握らないでください。
- ・ 製品運搬時は集草ボックスの取っ手を持って持ち運ばないでください。



使い方

過負荷保護装置（モータ保護機構）について

⚠ 警告

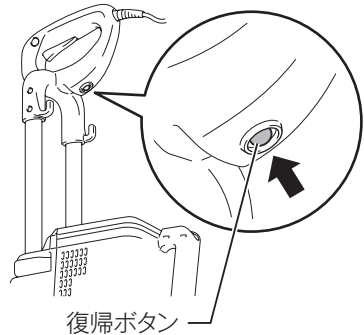
過負荷保護装置を復帰させるときは、必ずスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

- ・ スイッチを入れたまま押すと、急に動き出し、事故の原因になります。

過負荷の原因を取り除くときは、必ずスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 本製品には過負荷保護装置がついています。
- ・ 使用中の異常な負荷に対して過負荷保護装置が働き、自動的に停止します。
- ・ 過負荷保護装置が働いた際は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜き、過負荷の原因を取り除いてください。その後、本製品を1～2分休ませた後、復帰ボタンを押してから運転を再開してください。



注

- ・ ぬれた芝や長い芝を刈ると本製品内に芝がつまり、過負荷保護装置が働くことがあります。

作業方法

⚠ 警告

雨中や水たまり、および散水直後は使用しないでください。

- ・ 感電のおそれがあります。

スイッチレバーを握ったまま本製品を持ち運びしないでください。

- ・ 本製品が不意に動き出してけがのおそれがあります。

刃が回らない時や異音をする時は電源を入れしないでください。

- ・ 芝などが詰まったり、絡みついた時は取り除いてからご使用ください。

モータに負担がかかるような無理な使い方はしないでください。

- ・ 芝などが詰まったり、絡んだりした時は作業を中断し、芝などを取り除いてください。

芝刈機を使用する前に、作業場所に小石、棒切れなどの障害物がないことを確認してください。

- ・ 小石などが刃物に当たるとけがのおそれがあります。

刈り込み方法

- ・ あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。また、雑草も事前に取り除いてください。



注

- ・ 小石などを刃物がかみこむと刃がかけることがあります。

作業方法

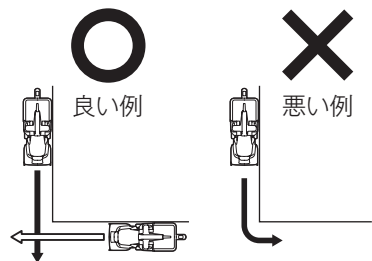
平地の刈りかた

- ・ ハンドルをしっかり持って作業してください（動かしづらいときは、両手で持ってください）。
- ・ 前後にゆっくりと何度か繰り返して刈ってください。



コーナー部の刈りかた

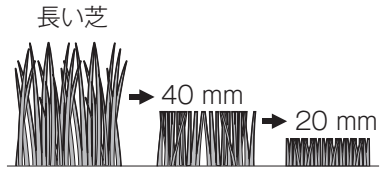
- ・ 角にロータリーブレード（可動刃）があたらないようにしてください。



作業方法

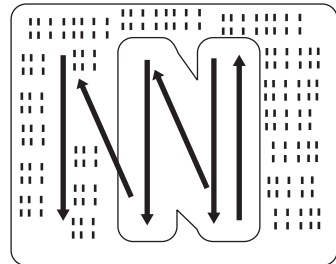
長い芝の刈りかた

- ・ 長い芝をいきなり、低い刈り高さで刈ると芝が枯れたり、本製品内に芝がつかまる場合があります。
- ・ 長い芝（約 40 mm 以上）は、1 度刈り高さを 40 mm にして刈った後、お好みの高さに短く刈りそろえてください。
- ・ 100 mm 以上の芝を刈る時は、集草ガイドを取りはずしてください。集草しにくくなりますが、芝のつまりを軽減できます。



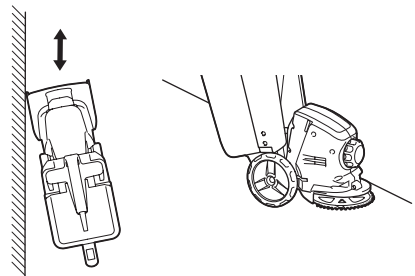
重ねて刈る場合

- ・ 一度刈った部分を重ねて刈ると、ムラを抑えることができます。



壁ギワの刈りかた

- ・ 本製品を壁に沿わせて刈ってください。

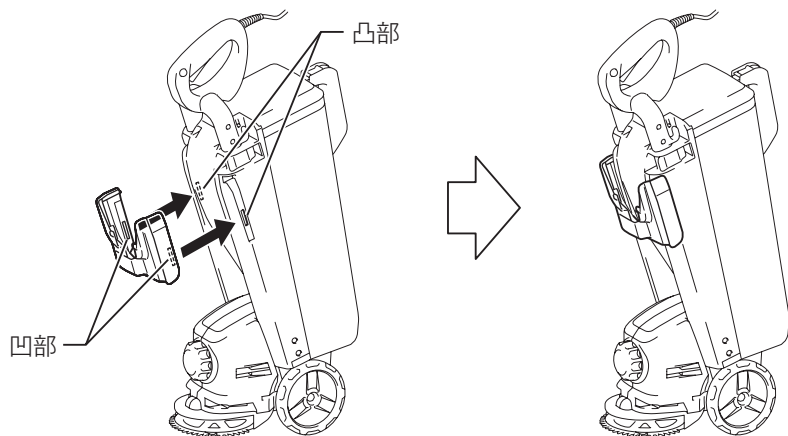


注

- ・ 刈り残しが出る場合は、集草ガイドを取りはずしてください。この場合、芝の集草はできません。

作業方法

- はずした集草ガイドは本製品に固定することができます。
- 集草ガイドの凹部を本製品の凸部にはめてください。



作業方法

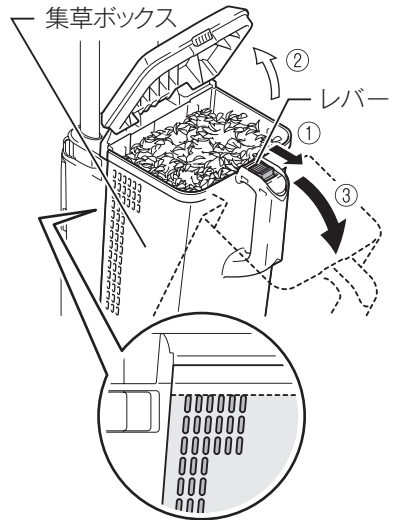
芝の捨てかた

⚠ 警告

芝を捨てる際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

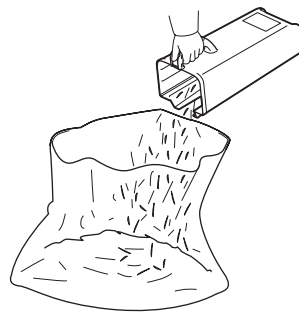
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ 集草ボックスに芝がたまったら、芝を捨ててください。
- ・ ①レバーを引くと②集草ボックスのカバーが開きます。③集草ボックスをはずします。



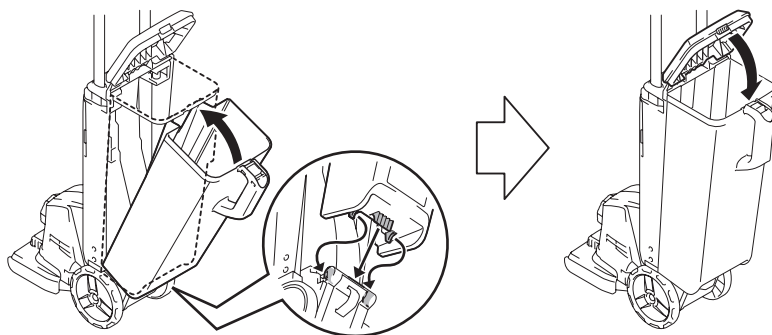
- ・ 集草ボックスの側面の穴が全てふさがる位置まで芝がたまったら、芝を捨てる目安です。

- ・ 集草ボックスから芝を捨ててください。



作業方法

- ・ はずした集草ボックスは確実に本製品に取り付けてください。
- ・ 集草ボックスを図のように本製品に取り付けます。



作業方法

芝がつまった場合の除去方法

⚠ 警告

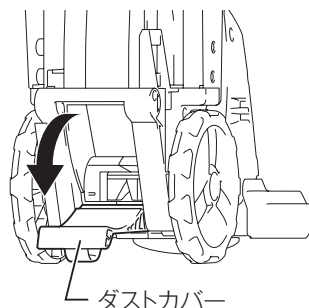
芝を除去する際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。

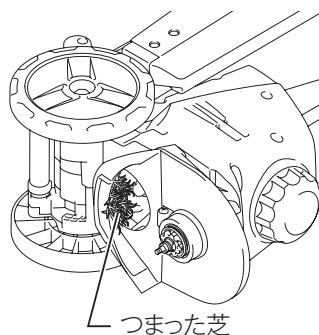
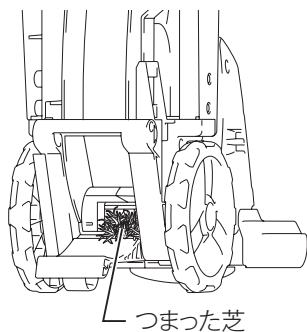
刃物をあつかうときは、必ず手袋を着用してください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 芝がつまりますと、集草ができなくなります。
- ・ 集草ボックスをはずした後、ダストカバーを開いて芝を取り除いてください。
- ・ 芝を取り除いたあと、ダストカバーが確実に閉じていることを確認してください。



- ・ 本製品前部につまった芝は刃物をとりはずして、つまった芝を取り除いてください。
- ・ 刃物の取りはずしかたは 28 ページをご参照ください。



お手入れ・保管

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。

刃物をあつかうときは、必ず手袋を着用してください。

- ・ けがの原因になります。

刃物のお手入れ

- ・ 刃物はずして、からんだ芝などを取り、古いハブラシなどで汚れを落としてください。
- ・ サビ防止のため、汚れを落としたあと油をつけてください。

本製品のお手入れ

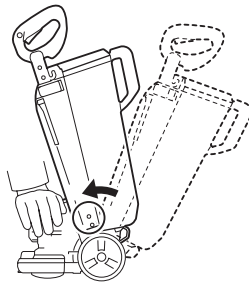
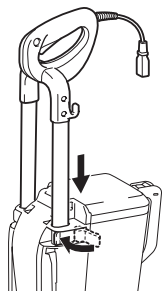
- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管

- ・ ハンドルを縮めて、本製品を収納状態にしてください。



- ・ 高温・多湿を避け、子どもが容易に触れられないところに保管してください。

お手入れ・保管

刃物の交換

⚠ 警告

刃物の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。
- ・ スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。刃物が完全に止まるまで刃物にふれないでください。

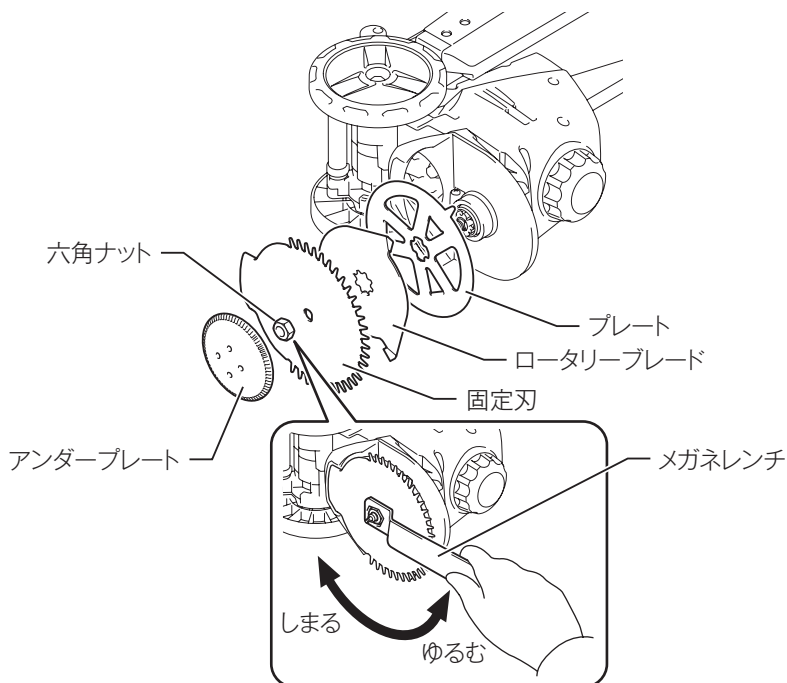
⚠ 注意

刃物を交換する際、ロータリーブレードや固定刃の刃に手が触れないように注意してください。

- ・ けがの原因になります。

刃物の取りはずしかた

1. ハンドル部を固定し、本製品を図のように横に倒します。
2. アンダープレートを反時計方向に回してはずしてください。
3. メガネレンチ 17 で六角ナットを反時計方向に回してはずしてください。



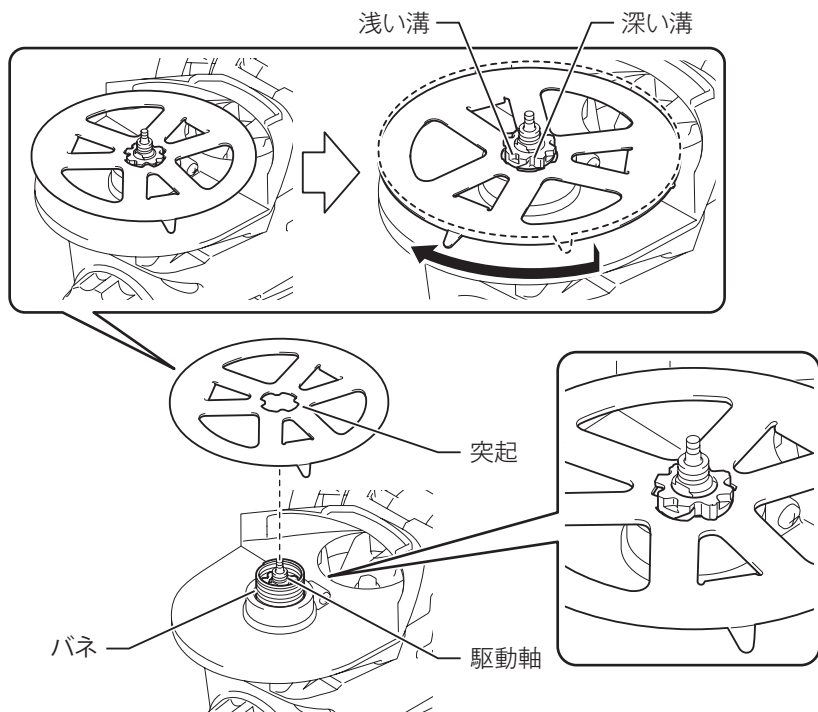
お手入れ・保管

刃物の取り付けかた

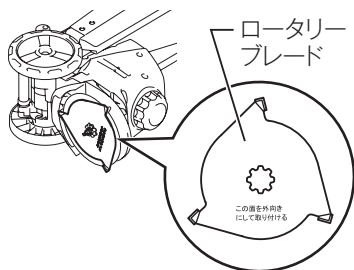
1. プレート内側の突起を駆動軸の深い溝に合わせて奥まで押し込みながら、図の矢印方向へ回して仮固定してください。

注

- ・ プレートが仮固定されていると本製品が十分に機能しない場合があります。刃物の交換後、必ずプレートの仮固定を解除してご使用ください。

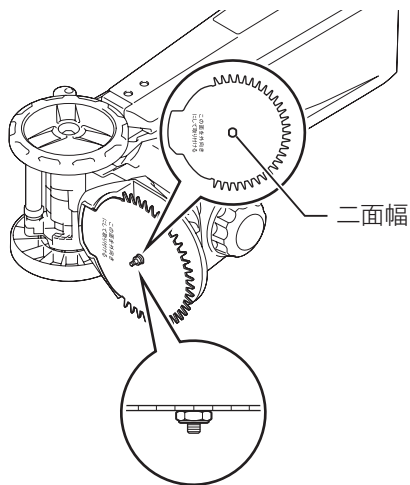


2. ロータリーブレードの文字の書いてある面を外向きにし、駆動軸の形状に合わせてはめ込みます。

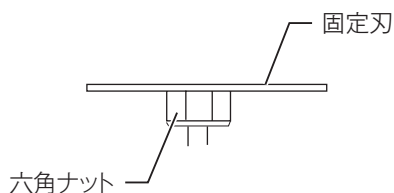


お手入れ・保管

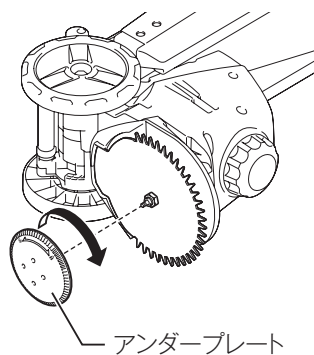
3. 固定刃の文字の書いてある面を外向きにし、駆動軸の形状（二面幅）に合わせてはめ込みます。



4. 六角ナットを付属のメガネレンチで時計方向に回して確実に締めてください。
締め付ける際、六角ナットは頭が丸くなっている方を外向きになるようにして締め付けてください。



5. アンダープレートを矢印方向に回して締め付けてください。

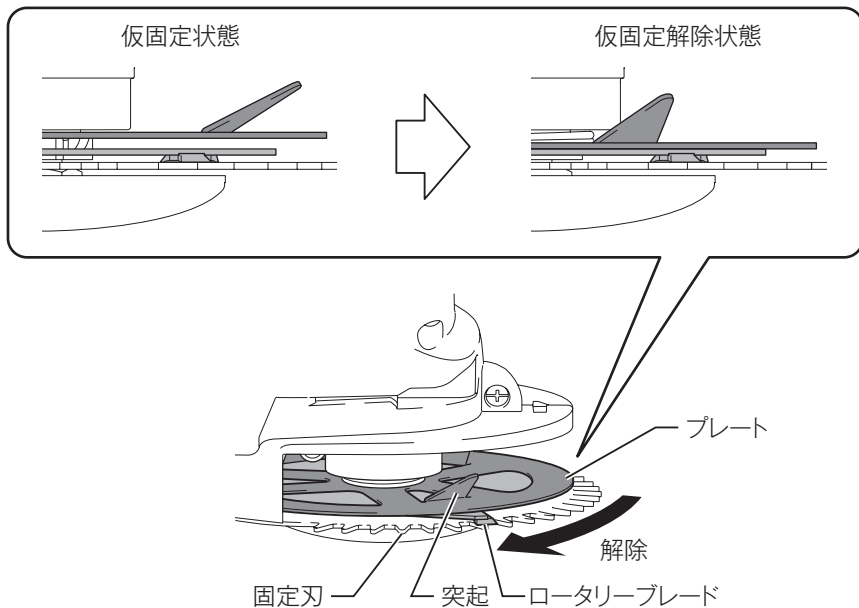


お手入れ・保管

- 最後にプレートの突起を矢印方向に回して、プレートの仮固定を解除してください。

注

- プレートが仮固定されていると本製品が十分に機能しない場合があります。刃物の交換後、必ずプレートの仮固定を解除してご使用ください。



保守・点検について

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881E63A3

IWT